

RF会 パトロールや アンケートを実施 日本工業 第7回安全大会を開催

(一社)日本RF工業
業会(三輪陽通会長)



日本RF工業会安全衛生
委員会・綾仁裕委員長

は10月17日、オンライン

ンと都内の会場を結んだ形で第7回安全大会を開催し、65人が参加した。冒頭あいさつに立った綾仁裕安全衛生委員長は、「近年、廃棄物処理・リサイクル業界では、大型機械による挟まれ、巻込まれ

等の事故が多発している。企業経営は、生産性、利益に関わらず、安全な職場があつてこそ成り立つものだと感じている。安全意識の進化、安全管理のさらなる徹底を図っていた「だきたい」と述べた。不二産業で実施した

安全パトロールの内容について報告した高澤孝司委員(木村産業)は、他部署員による抜き打ちのパトロール等の取り組みを紹介したうえで、「安全衛生は『作業の安全十則と6S運動の徹底実践』に尽きる」と話した。技能実習生への安全教育視察の報告では、才原真一委員(アルファ)が、技能実習生を受け入れて加山興業の状況を紹介し、経営側が外国人実習生の受け入れ環境を整え、安全衛生環境を作ることが重要だと述べた。また、中田英男副委員長は「挟まれ・巻込まれ災害に関する会員アンケート調査」の結果報告を行った。



会場のようす

続く第2部では、田中博副委員長(日本ウエスト)が「健康経営優良法人認定制度」を紹介した後、TOP P・AN西日本事業本部の宮下英徳氏が、同社が開発・販売して

いる事故体験VRコンテンツ「安全道場VR」を紹介した。

さらに、岡弘事務局長は、「今後ケミカルリサイクルへの移行が

急速に進んでいくことが見込まれる。工業会としても対応を進めているところだ」と述べた。(関連記事2面)